

(一社) 日本臨床耳鼻咽喉科医会

令和4・5年度 第4回 理事会議事録 (摘録)(Web会議)

令和5年3月22日 (水) 21:00~

出席者 会長：福與和正 副会長：川嵯良明、野上兼一郎、藤岡 治
理事：朝比奈紀彦、麻生 伸、阿部博章、石谷保夫、香取幸夫、川島佳代子、小泉達朗、
杉山貴志子、高原哲夫、中澤 宏、永田博史、吉村 理
監事：岩佐英之 (計17名) 事務局：井出あゆみ、平間妙子

会長挨拶

3月に第3巻会報が発行され、担当理事に謝意を表す。また嚙下障害マニュアルが同時に配布されたので、会員の利用促進の為、周知に努めて欲しい。今後は市民への啓発の為の活動に移行することになるが、新たなWGを立ち上げるなど嚙下診療の拡大普及に努めていきたい。

報告事項

庶務委員会 (小泉理事)

- 令和5年3月10日までの入会・退会・異動および会員数を報告した。
入会199名・退会264名でA会員4408名・B会員1913名、計7321名であった。
- 埼玉県医会からの退会者の承認依頼があった。
- 年間会費未納の為、A会員7名・B会員14名の退会を承認した。

広報・渉外委員会 (中澤理事)

事前資料の通りで特に追加・補足事項は無かった。

経理・会員福祉委員会 (高原理事)

令和5年2月末までの会計報告を行った。まだ年度継続中であるが今年度も繰越金が発生する見込みである。

地域医療委員会 (川島理事)

事前資料の通りで特に追加・補足事項は無かった。

保険医療委員会 (杉山理事)

- WGでの決定事項をHPへの掲載する際のルールについて確認した。
- 保険医療委員会資料令和4年度改定評価について報告した。

学校保健委員会 (朝比奈理事)

- 全国の学校医の配置状況についての調査を行う為、準備中と報告された。
- 令和5年度耳鼻咽喉科健康診断実施に係る対応について報告された。
- 日本学校保健会「難聴児童生徒へのきこえの支援 (平成16年作成)」について報告された。

福祉医療委員会 (麻生理事)

事前資料の通りで特に追加・補足事項は無かった。

医事問題委員会 (阿部理事)

- 委員会報告、ワークショップおよび全国会議、医事問題セミナーに関しては報告された。
- WSおよび全国会議ではEmpty nose syndromeが取り上げられた。
- 医事問題セミナーが次年度(今年の秋)から

秋季大会の中に移ることが決定した。

勤務医委員会（永田理事）

事前資料の通りで特に追加・補足事項は無かった。

学術委員会（吉村理事）

1. 第4回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッション（11/19開催予定）の第4回日本臨床耳鼻咽喉科医会セッションの演題ならびに演者が報告された。
2. 嚥下障害診療マニュアル関係御見積書・請求書について報告した。
3. 配布せずに残った9,000部の嚥下障害マニュアルの取り扱いについて報告され、事務局の負担増にならないよう希望する旨の追加発言があった。

会報委員会（石谷理事）

1. 令和4・5年度第2回ならびに第3回会報委員会議事録について報告した。
2. 会報第3巻を発行した。広告収入の減少があり、この改善が今後の課題である。

協議事項

1. 令和5年度事業計画（案）について（小泉理事）
 - (1) 現在進めている議員との連携は「10. マスコミ・行政対応体制を検討」に含まれるとの解釈でよいかとの質問に対し、今後の進捗状況により次年度計画ではもう少し詳細な表記に改める事も検討するとした。
 - (2) 表現形式については過去に協議しこの形式とした経緯がある事が説明された。
 - (3) 前年度事業計画の「14. 新型コロナウイルス感染症に関する情報を収集し会員に通知」は、新型コロナウイルス感染症は既にピークアウトしこの5月より5類に移行する事から、今後の新たなパ

ンデミックの発生も視野に入れ、「新型コロナウイルス感染症」を「感染症等」と変更する事とした。

2. 令和5年度収支予算（案）について（高原理事）

来年度予算計画案を提示し、承認された。
3. 剰余金（繰越金）の特定資産への振り替えについて協議・承認された（高原理事）
 - (1) コロナ禍による活動制限による繰越金をこれを特別会計として管理する事に対し、会計士より問題ないとの見解を得ている。
 - (2) 名目を付けた特別積立金にすると用途を限定されるので、特定資産として記念式典や事務所の移転費用、或いは災害時における支援金や見舞い金等の予算外や想定外の支出に流動的に対応できるようにした。
4. 第8回新型コロナウイルスアンケート（川島理事）
 - (1) 以前の調査で指定医療機関として発熱外来を設けている医療機関以外にも、発熱患者の診療を行っている機関も少なからず存在している事が判っており、これを分けて考える必要はないのか。（福與会長）
 - (2) 第5類に変更になる事を踏まえ、その際には発熱患者への対応をどのように考えているか、情報を得ることも有用ではないか。（杉山理事）
 - (3) 診療検査医療機関と、診療検査医療機関ではないが発熱患者を診療する医療機関が5月8日以降どのような診療体制を取るか尋ねる項目を追加することにした。（野上副会長）
5. 都道府県勤務医代表を対象とした、今後の勤務医委員会の業務に関するアンケートについて（永田理事）
 - (1) アンケートの起草者は永田理事・福與会長の両者の併記ではどうかとの発言があった。
 - (2) 開業医でも閉院した後に就職先を探すことがありうるので、セカンドキャリア対策は勤

務医に限る必要はないと考える。

- (3) 日耳鼻から「医師のセカンドキャリアと地域医療を支えるネットワーク」事業について、臨床耳鼻科医会へも協力依頼が来ているが、勤務医委員会と広報委員会で掲載方法なども含め検討をお願いしたい。

- (4) HPでのバナーの設置場所については勤務医のページに設ける方向で検討する。